

I. 事業報告

1. 企画展

生誕 100 年「人間・岡本太郎」展（前期・後期）

会期	【前期】2011 年 4 月 16 日～7 月 3 日 【後期】2011 年 7 月 7 日～9 月 25 日
開催日数	前期 67 日 後期 70 日 計 137 日
主催	川崎市岡本太郎美術館、NHK 横浜放送局
協力	岡本太郎記念館、すわ製作所、株式会社シュヴァン 小田急電鉄株式会社、東京急行電鉄株式会社
観覧料	一般 900 (720) 円、高・大学生・65 歳以上 700 (560) 円 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	前期 22,681 名 後期 26,395 名 計 49,076 名
1 日平均	前期 339 名 後期 377 名 計 358 名
図録	A5
ポスター	B2
チラシ	A4
出品点数	前・後期合わせて約 165 点
担当者	村田慶之輔（館長）、仲野泰生、佐々木秀憲、 佐藤玲子、片岡 香、大高 修、吉田成志



図録



チラシ



展示風景

【開催趣旨】

1911 年 2 月 26 日に「生」を受けた岡本太郎は 2011 年で 100 歳を迎えました。これを機に、岡本太郎の人間性の幅の広さを検証。様々なジャンルの人たちと交流した様々な顔を持つ「人間・岡本太郎」そのものを紹介しました。

「美術」という枠を超えて、アヴァンギャリスト（前衛芸術家）として各領域を越境しながら活動した岡本太郎。様々なジャンルの人たちと岡本太郎との接点をたどりながら、交流のあった人々との関わりを、作品・資料・映像等で紹介し、生き生きとした岡本太郎像を展示のなかで浮かび上がらせようという試みでした。

展覧会は、前期・後期の 2 期に分けて行いました。前期は岡本太郎と実際に会い、活動をともにした人たちを中心に。後期は岡本太郎の影響を受け、岡本太郎の精神を継承する人たちを中心に紹介しました。

【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

- ・「生誕 100 年 人間・岡本太郎展 重ねた「対話」人間像投影」『讀賣新聞』2011.4.7
- ・「二つの岡本太郎展「仮面」はぐ再検証もっと」『朝日新聞』夕刊 2011.4.20
- ・「異才画家の人間像知って 著名人との関わりなど紹介」『東京新聞』2011.4.23
- ・テレビ東京 美の巨人たち「岡本太郎『森の捉』」2011.4.23 23:00～放映
- ・「生誕 100 年 岡本太郎をめぐる多彩な人々」『聖教新聞』2011.7.7
- ・NHK 教育テレビ 日曜美術館 アートシーン「人間・岡本太郎展」2011.7.17 9:00～放映
- ・「岡本太郎美術館が後期展 多分野への影響探る」『神奈川新聞』2011.8.4

【関連事業】

■ 「太郎の愛した映画たち」(共催:川崎市市民ミュージアム／協力:東京国立近代美術館フィルムセンター)
川崎市市民ミュージアムにて「太郎の愛した映画たち」という特集上映を開催し、岡本太郎が 1950 年代より書き続けてきた映画批評の対象となった作品や、製作に携わった作品を上映しました。

会 場 川崎市市民ミュージアム 映像ホール (1F)
料 金 一般 600 円、シニア・学生 500 円、小中学生・市民ミュージアム友の会会員 400 円
総入場者数 697 名

7/9 (土)	12:30~	「世界は恐怖する 死の灰の正体」(1957年 監督:亀井文夫)
	15:00~	「おとうと」(1960年 監督:市川崑)
7/10 (日)	12:30~	「誘惑」(1957年 監督:中平康)
	15:00~	「日本脱出」(1964年 監督:吉田喜重)
7/16 (土)	12:30~	「ウイーケンド」(1967年 監督:ジャン=リュック・ゴダール)
	14:30~	【入場無料】トークショー「太郎の愛した映画たち」 吉田成志(川崎市岡本太郎美術館)、岩楓歩(川崎市市民ミュージアム)
	15:30~	「裸の島」(1960年 監督:新藤兼人)
7/17 (日)	12:30~	「おとうと」(1960年 監督:市川崑)
	15:00~	「宇宙人東京に現わる」(1956年 監督:島耕二)
7/18 (月・祝)	12:30~	「日本脱出」(1964年 監督:吉田喜重)
	15:00~	「ウイーケンド」(1967年 監督:ジャン=リュック・ゴダール)
7/23 (土)	12:30~	「裸の島」(1960年 監督:新藤兼人)
	15:00~	「世界は恐怖する 死の灰の正体」(1957年 監督:亀井文夫)
7/24 (日)	12:30~	「宇宙人東京に現わる」(1956年 監督:島耕二)
	15:00~	「誘惑」(1957年 監督:中平康)

■ 「写真家 トヨダヒトシ『NAZUNA』～真夏のスライドショー～」

作品をスライドショー形式でのみ発表しているニューヨーク在住の写真家・トヨダヒトシ氏によるイベント。NHK 横浜放送局と共同して《母の塔》の前に特設スクリーンを設置して開催しました。

日 程 2011 年 7 月 31 日 (日)
時 間 19:00 開場／19:30 開演 (21:15 頃終演)
場 所 《母の塔》前広場
料 金 無料 (往復はがき又は電話での事前申し込み制)
参加人数 157 名



■ 「タナカカツキ トークイベント」

岡本太郎を尊敬するマンガ家・タナカカツキ氏によるトークショー。自身の作品映像も絡めながら、自らの制作活動から見た岡本太郎像を縦横無尽に語っていただきました。

日 程 2011 年 9 月 19 日 (月・祝)
時 間 14:00～16:00
場 所 ガイダンスホール
料 金 無料
参加人数 約 100 名



■ 「今福龍太 トークイベント」

文化人類学者の今福龍太氏をお招きし、文化人類学の立場から岡本太郎を読み解きました。題して「孤独な呪術師、岡本太郎」。

日 程 2011 年 9 月 24 日 (土)
 時 間 14:00~16:00
 場 所 ガイダンスホール
 料 金 無料
 参加人数 約 100 名



■ ビデオ上映 「みうらじゅん 岡本太郎を語る！」ダイジェスト版

「篠原有司男 岡本太郎を語る！& ボクシング・ペインティング」ダイジェスト版

岡本太郎生誕 100 年誕生日記念イベントで行われた、みうらじゅん氏トークショー（2月 26 日）と篠原有司男氏講演＆ボクシング・ペインティング（2月 27 日）の模様を収録した映像（ダイジェスト版）を上映。

日 程 2011 年 8 月 27 日、28 日、9 月 3 日、4 日、10 日、11 日、17 日、18 日、23 日、25 日
 時 間 各日とも 13:30~ (約 30 分)
 場 所 ガイダンスホール
 料 金 無料
 参加人数 各回約 20 名

【出品リスト】

会期	作家名	作品名	制作年	材質・形状	所蔵（記載の無いものは岡本太郎美術館蔵）
■建築室■					
【全】	岡本太郎	日の壁 原寸大複製（部分）	1956/91	FRP	岡本太郎記念館
【全】	岡本太郎	日の壁 石膏原型	1956	石膏	岡本太郎記念館
【全】	岡本太郎	月の壁 複製	1956/91	FRP	
【全】	岡本太郎	建設	1956	油彩、キャンバス	
【全】	岡本太郎	赤（原画）	1956	油彩、キャンバス	岡本太郎記念館
【全】	岡本太郎	緑（原画）	1956	油彩、キャンバス	岡本太郎記念館
【全】	岡本太郎	青（原画）	1956	油彩、キャンバス	岡本太郎記念館
【全】	岡本太郎	マミ会館 模型	1968		
【全】		マミ会館 施工図面	1968	印刷物	間組技術局建築設計部
【全】		「建築と太郎」/「NHK 教養特集 この人と語る」より 岡本太郎、丹下健三対談、司会：川添 登	1967 放送	映像	NHK エデュケーションナル
【全】		岡本太郎旧蔵書より建築関連書籍	---	書籍	
【全】		国際デザインコミッティー関連資料一式	---		
【全】		現代芸術研究所関連資料一式	---		
【後】	坂倉準三建築研究所	青山アトリエ設計図一式	1954	青焼き図面他	岡本太郎記念館
【後】		岡本太郎宛書簡一式	1950 年代		岡本太郎記念館
【後】		旧東京都庁舎のためのデッサン	1956	鉛筆、紙、ノート	岡本太郎記念館
【後】		日本万国博覧会 テーマ館図面	1968	青焼き図面（複製）	
【後】		第 11 回ミラノトリエンナーレ会場図面	1957		岡本太郎記念館
■美術室■					
【前】	東郷青児	サルタンバンク	1926	油彩、キャンバス	東京国立近代美術館
【前】	福沢一郎	Poisson d'Avril (四月馬鹿)	1930	油彩、キャンバス	東京国立近代美術館

会期	作家名	作品名	制作年	材質・形状	所蔵（記載の無いものは岡本太郎美術館蔵）
【前】	古沢岩美	プルトの娘	1951	油彩、キャンバス	東京国立近代美術館
【前】	岡本太郎	空間	1973 (1934 原作 油彩)	シルクスクリーン、紙	
【前】	パブロ・ピカソ	ドローイング（レプリカ）	1953	コピー（インク、紙）	
【前】	アレクサンダー・コールダー	コンポジション	1973 (1932 原作 ゲラッシュ)	リトグラフ、紙	
【前】	ラースロー・モホリ=ナギ	構成	1973 (1932 原作 ゲラッシュ)	シルクスクリーン、紙	
【前】	ソフィー・トイバー=アルプ	青いフィルム	1973 (1932 原作 ゲラッシュ)	シルクスクリーン、紙	
【前】	ヴァシリー・カンディンスキー	コンポジション	1973 (1932 原作 リトグラフ)	シルクスクリーン、紙	
【前】	ハンス・アルプ	コンポジション	1973 (1930 頃 原作リーフ)	シルクスクリーン、紙	
【前】	ピート・モンドリアン	コンポジション	1973 (1932 原作 油彩)	シルクスクリーン、紙	
【前】	フランティシェク・ク・クプカ	コンポジション	1973 (1931 原作 ゲラッシュ)	シルクスクリーン、紙	
【前】	ソニヤ・ドローネ=テルク	リズム 一色彩	1973 (1932 原作 ゲラッシュ)	シルクスクリーン、紙	
【前】	マックス・ビル	二つの部分からなる構成	1973 (1934 原作 油彩)	シルクスクリーン、紙	
【前】	フランティシェク・フォルティーン	コンポジション	1973 (1934 原作 油彩)	シルクスクリーン、紙	
【前】	イサム・ノグチ	三本足の花器	1952	陶	財団法人草月会
【前】	イサム・ノグチ	フトッタツボ	1952	陶	財団法人草月会
【前】	勅使河原蒼風	子供	1950 頃	金属	財団法人草月会
【前】	勅使河原蒼風	ミコト	1950 頃	金属	財団法人草月会
【前】	和田英作	おうな	1908	油彩、キャンバス	東京国立近代美術館
【前】	和田英作・岡本太郎	日光丸船上にて	1927	水彩、紙	
【前】	北大路魯山人	色絵椿文鉢	1930 頃	陶器	個人
【前】	北大路魯山人	信楽鮑形鉢	1941	陶器	個人
【前】	岡本太郎	日輪	1987	陶器	
【前】	辻輝子	色絵ブドウ文万華鏡	1990 年代	色絵磁器	個人
【前】	成形 岡本太郎 施釉・焼成 辻輝子	織部釉ブローチ	1950 頃	陶器	個人
【前】	岡本太郎	四ツ足	1949	陶器	
【前】	成形 辻輝子 絵付 岡本太郎	色絵三足杯	1950 頃	色絵磁器	個人
【前】		「ピカソと太郎」NHK 教養セミナー 証言・現代史 岡本太郎～限りなき 創造～より	1984 放送	映像	NHK エデュケーション
【前】		「辻輝子インタビュー」	2006	音声+静止画	
【後】	横尾忠則	夜の会合	1997	油彩、アクリル、キャンバス	
【後】	池田龍雄	倉庫	1956	ペン、インク、紙	個人
【後】	池田龍雄	化物の系譜シリーズ『ゴム族』	1950 年代	ペン、インク、紙	個人
【後】	岡本太郎	24 歳の村上善男	1956	墨、和紙	
【後】	北代省三	少女と太陽	1948/89	油彩、キャンバス	
【後】	篠原有司男	野外制作中の岡本太郎 —アリゾナの朝日 からバミューダ島の夕日	2000	アクリル、キャンバス 枠：カードボード、スープープラスチック、泡スプレー、木 他	個人
【後】	タナカカツキ	太郎園	2007	映像	個人
【後】	タナカカツキ	引き裂かれて舞う布	2007	映像	個人
【後】	ヤノベケンジ	太陽の塔乗っ取り計画	2003	映像	個人 映像編集：青木兼司
■岡本家■					
【前】		岡本かの子の衣装 オーバーコート	不明	布地	岡本太郎記念館

会期	作家名	作品名	制作年	材質・形状	所蔵（記載の無いものは岡本太郎美術館蔵）
【前】	岡本一平	岡本一平の衣装 オーバーコート	不明	布地	岡本太郎記念館
【全】	岡本一平画 岡本かの子書・歌	かの子観音	不明	墨、紙	
【前】	岡本太郎	敗惨の歎き	1925	水彩、紙	
【全】	岡本かの子著 岡本太郎装丁	『生々流転』	1940	書籍	
【全】		「母・かの子と太郎」YOU マザコンは恥ずかしくない より	1982 放送	映像	NHK エデュケーション
【全】		「中村メイコさんと太郎」日曜美術館より	2011 放送	映像	NHK エデュケーション
【全】	岡本太郎	扉 A・B（模造）	1958/2011	合板	NHK ドラマ「TARO の塔」セットの為の模造
【全】	岡本太郎、埴谷雄高 他 著	『新しい芸術の探求「夜の会」編』 月曜書房刊	1949	書籍	
【後】	岡本かの子	岡本かの子の衣装、靴	不詳	布地 他	個人
【後】	岡本太郎	春	1947	インク、紙	
■館長室■					
【全】	藤田嗣治	自画像	1929	版画	個人
【全】	岡本太郎	ひもの椅子	1967	木、ロープ	
【全】	横尾忠則	岡本桃太郎	1966/ 2000	バブルジェットプリント	
【全】	横尾忠則 (デザイン)	川崎市岡本太郎美術館「万歳七唱 岡本太郎の鬼子たち」展 ポスター	2000	印刷物	
【全】		大映映画「宇宙人東京に現る」ポスター	1956	印刷物	
【全】		「哲学・民族学・文学と太郎」：マルセル・モースの肖像より／NHK 教養セミナー 証言・現代史 岡本太郎～限りなき創造～より	1984 放送	映像	NHK エデュケーション
【全】		「夜の会」について 瀬木慎一（美術評論家）			
【全】		インタビュー：NHK 教養セミナー 証言・現代史 岡本太郎～限りなき創造～より	1984 放送	映像	NHK エデュケーション
【全】	ジャン・ルーシュ (監督・撮影)	「マルセル・モースの肖像」より	1973	映像	
【後】	岡本太郎	無題	1962 頃	油彩、紙	個人
【後】		『岡本敏子、TARO を語る』「TARO-T 岡本太郎 Tribute Tシャツ展トークショー」より 岡本敏子、糸井重里、伊賀大介	2005	映像	
【後】		『荒川修作、岡本太郎を語る』「岡本太郎の芸術－その生命の流儀」より	1998	映像	
【後】		『森村泰昌《太陽の塔》を語る』「岡本太郎の芸術－その生命の流儀」より	1998	映像	
■書斎■					
【前】	岡本太郎	歓喜	1963	油彩、キャンバス	
【全】		岡本太郎旧蔵フランス語書籍一式	---		
【全】		岡本太郎旧蔵日本語書籍一式	---		
【全】		岡本太郎収集民芸品	---		
【全】		岡本太郎収集仮面	---		
【全】	岡本太郎	テーブル（模造）	2011	合板	NHK ドラマ「TARO の塔」セットの為の模造
【全】	ジョルジュ・バタイユ	「文学と悪について」	1958	映像	INA 他
【全】	ミルチャ・エリアーデ	「芸術」と「聖」	1987	映像	INA 他
【後】	岡本太郎	石と樹 II	1983	油彩、キャンバス	
■写真室■					
【前】	ロバート・キャバ	メーデーの祝祭	1937	ゼラチンシルバープリント	東京都写真美術館
【前】	ロバート・キャバ	マドリッド	1936	ゼラチンシルバープリント	東京都写真美術館
【前】	ロバート・キャバ	捕虜収容所を転々と移される流刑の王党派兵士	1939	ゼラチンシルバープリント	東京都写真美術館
【前】	ロバート・キャバ	マルセイユ	1939	ゼラチンシルバープリント	東京都写真美術館

会期	作家名	作品名	制作年	材質・形状	所蔵（記載の無いものは岡本太郎美術館蔵）
【前】	ロバート・キャバ	オマハビーチ D-デイにノルマンディー 海岸に上陸するアメリカ部隊	1944	ゼラチンシルバープリント	東京都写真美術館
【前】	ブラッサイ	ダンスホール	1932	ゼラチンシルバープリント	東京都写真美術館
【前】	ブラッサイ	広告塔（モリス塔）オプセルヴァトワール 大通り	1933	ゼラチンシルバープリント	東京都写真美術館
【前】	ブラッサイ	橋の下の恋人たち	1930-32	ゼラチンシルバープリント	東京都写真美術館
【前】	ブラッサイ	ノートルダム寺院北塔の樋嘴	1933	ゼラチンシルバープリント	東京都写真美術館
【前】	ブラッサイ	フォリ・ベルジェールの娘たち	1932	ゼラチンシルバープリント	東京都写真美術館
【前】	岡本太郎	縄文土器 東大人類学教室／富山出土	1956	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	縄文土器 東大人類学教室／山梨県出土	1956	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	土偶 横浜市出土	1956	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	土偶 東京国立博物館／山梨県出土	1956	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	沖縄 読谷	1959	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	沖縄 いるか漁（大宜味村）	1959	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	沖縄 イザイホー（久高島）	1966	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	沖縄 イザイホー／夜に続く神事（久高島）	1966	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	広島 壬生 花田植え	1963	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	岩手 鹿踊りの面	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	高知 美しい形のヤス（釣具）	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	秋田 「ごめしてけれ 家の子はあぐだれ ね」（なまはげ）	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	徳島 阿波おどり	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	島根 出雲大社・本殿	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	大阪 雨の日	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	大阪 大阪三品取引所	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	大阪 法善寺横丁	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	大阪 間屋街	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	大阪 中之島付近	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	京都 龍安寺・雨落ちの小溝	1954	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	京都 清水寺付近	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	京都 平安神宮付近	1957	ゼラチンシルバープリント	
【前】	岡本太郎	京都 島原の太夫	1954	ゼラチンシルバープリント	
【全】		岡本太郎所蔵カメラ、レンズ他	---		

■写真室 BAASATA（セッティング：佐内正史） ■ ※後期展示のみ

【後】	荒木経惟	「アラーキーの TARO 愛 岡本太郎への旅」 (光文社 1999 年) より	1999	ゼロックスコピー	個人
【後】	佐内正史	中村一義「ERA」(EMI Music Japan Inc. 2000 年) より	2000	ゼロックスコピー	個人
【後】	佐内正史	「美術手帖」2011 年 3 月号 (美術出版社) より	2011	ゼロックスコピー	個人
【後】	佐内正史	「対照 guide」(「佐内正史の写真」展 カタログ、川崎市岡本太郎美術館 2009 年) より	2009	ゼロックスコピー	個人
【後】	佐内正史	パイラーズ	2008-2011	ゼロックスコピー	個人
【後】	佐内正史	パイラ PV	2011	映像	個人

■大衆室■

【全】		岡本太郎人形 FUU TARO ユニフォーム 着用	不詳	
【全】		大阪万博時に作られた記念グッズ 各種	---	個人
【全】		「山形は白い国、岡本太郎のスキー」	1983	映像
【前】		「二科会の野球試合」		映像
【全】	岡本太郎（デザイン）	スキー板 ブリザード	不詳	グラスファイバー

会期	作家名	作品名	制作年	材質・形状	所蔵（記載の無いものは 岡本太郎美術館蔵）
【全】		岡本太郎が使用していたスポーツ用具 一式	---		
【前】		『近鉄バッファローズ V1 への歩み —球団三十年史』	1980 発行	書籍	
【全】		『岡本太郎の挑戦するスキー』講談社刊	1977	書籍	
【全】		「田中角栄映像」NHK ニュース 自民党 臨時大会／新総裁記者会見／所信表明 演説より	1972 放送	映像	NHK エデュケーションナル
【全】	岡本太郎（出演）	「キリンシーグラム・ロバートブラウン」	1976 放送	CM 映像	
【全】	岡本太郎（出演）	「日立マクセルビデオカセット」ピアノ編	1981 放送	CM 映像	
【全】	岡本太郎（出演）	「シチズンエクシード」玄関編	1986 放送	CM 映像	
【全】		「万博と太郎 —生命の樹—」 NHK 万博記録映像より	1969/ 1970 撮影	映像	NHK エデュケーションナル
【全】		『週刊 プレイボーイ』集英社刊 （「岡本太郎のにらめっこ問答」掲載）	1979 年 1月 2 日号～ 1980 年 9月 2 日号	雑誌	
【全】		岡本太郎が掲載された雑誌 各種	---	印刷物	個人
【全】		「日本万国博覧会」関連書籍 各種	1970	印刷物	
【全】	岡本太郎（題字）	東宝映画「鬼婆」ポスター	1964	印刷物	個人
【前】	岡本太郎（題字）	松竹映画「性の起原」ポスター	1967	印刷物	個人
【全】	岡本太郎（題字）	東宝映画「触覚」ポスター	1970	印刷物	個人
【全】	岡本太郎（デザイン）	顔のグラス	1976	ガラス	個人
【後】		「後楽園の野球試合」	不詳	映像	
【後】		「スキーでの骨折（石原裕次郎氏も病室へ）」	1960	映像	
【後】	岡本太郎	「足」原型	不詳	石膏	岡本太郎記念館
【後】		ジミー大西インタビュー/日曜美術館より	2011	映像	
【後】	岡本太郎	咲笑	1972	油彩、キャンバス	
【後】	岡本太郎	アートシアター新宿文化劇場招待券 デザイン原画	不詳	墨、紙	
【後】	岡本太郎（表紙画）	「Cinema D'essai—シネマ・デッセイ」 1 号/アートシアター・ギルド発行	1962	印刷物	個人
【後】	岡本太郎（デザイン）	アートシアター新宿文化劇場招待券 2 種	---	印刷物	
【後】	池田龍雄（デザイン）	「アートクラブ主催 講演と映画の夜」 ポスター	1964	印刷物	個人

■中央ホール■

【全】	パイラ星人（複製）	2011	バルーン	(c)角川映画 バルーン制作:クラウン・ピー
【全】	ひもの椅子 4 点	1967	木、ロープ	
【全】	坐ることを拒否する椅子 13 点 (後期は 16 点)	1963	陶	
【全】	手の椅子 2 点（後期は 1 点）	1967	FRP	
【全】	駄々っ子 2 点	1969	FRP	
【全】	ゆったり（再制作） 2 点	1956	木、ウレタン、布	
【全】	スツール 2 点（後期は 3 点）	1967	アルミニウム、ウレタン、布	